

市民が選んだ「芦屋の未来遺産」100選

2017年12月1日現在

芦屋の自然遺産		芦屋の歴史遺産	
1 芦屋川の源流とブナ自生地 <後鉢巻山898.6mの手前、石宝殿白山宮の祠を下った辺り>	26 朝日ヶ丘縄文遺跡・屋外模型（朝日ヶ丘集会所に隣接） <昭和39年発見。縄文時代前期の遺跡。朝日ヶ丘集会所内部にも展示>		
2 芦屋川の清流（上流～下流） <カワセミ・アユ・アマゴ・蟹の見られる風景>	27 芦屋廃寺（塙通寺法恩寺）の史跡（西山町に石碑） <白鳳時代の瓦や「行基の松」石碑・【県指定文化財】塔心礎>		
3 芦屋川河口・三角州 <急峻な芦屋川がつくった自然の砂浜。潮干狩りができる海鳥も遊ぶ>	28 芦屋神社境内古墳【市指定遺跡】（東芦屋町） <古墳時代後期～飛鳥時代の円墳。弁天岩の水神社移設>		
4 芦屋公園・市木クロマツの松林（浜芦屋町・松浜町） <白砂青松の芦屋浜・打出浜の昔をしのべ、芦屋遊園の名残も現存>	29 阿保親王塚古墳（翠ヶ丘町） <4世紀後半の古墳>		
5 芦屋浜（臨港線以南）・潮芦屋ビーチ（南浜町地先） <地曳網漁や海水浴場で知られた。今は潮芦屋ビーチにその面影を残す>	30 芦屋市内の全文化財 <【市指定文化財】旧三条村共有文書・四季耕作図屏風・三好長康山論裁許状 他>		
6 芦屋神社の森（東芦屋町） <かつてコバノミツバツツジ群生地>	31 芦屋市内の全遺跡・史跡・古墳 <打出小槌古墳・前田遺跡・三条岡山遺跡・吳川遺跡など約150カ所>		
7 芦屋霊園（公園墓地）からの眺望（朝日ヶ丘町・劍谷） <市街を一望。さくらの名所・市花コバノミツバツツジも群生>	32 岩園天神社と山岳信仰（岩園町） <境内に6世紀代の古墳や役行者(えんのぎょうじや)の碑がある>		
8 阿保親王塚の森（翠ヶ丘町） <平城天皇の皇子・阿保親王の廟との伝承>	33 打出天神社（春日町） <江戸時代地誌に「産土(うぶすな)神」とある>		
9 荒地山からの眺望 <城山の尾根続きの岩場。民話「七衛門ぐらのたたり」の舞台>	34 会下山遺跡【国指定史跡】・復元高床倉庫 <弥生時代の高地性集落跡。【市指定文化財】青銅製漢式三翼鏡>		
10 岩ヶ平公園の四季（岩園町） <さくらの名所、姉妹都市提携を記念した「モンテベロばら園」など>	35 奥池 水神社の石祠・石碑（奥池南町） <天保12年、猿丸安時が20余年を要して奥池を築造。水神社を建立>		
11 岩園天神社の森（岩園町） <常緑広葉樹の極相林に覆われた中に、6世紀代の古墳がある>	36 猿丸安時翁頌徳碑（東芦屋町・開森橋東詰） <艱難辛苦の末、村の治水のために奥池を開削した安時を顕彰>		
12 奥池一周囲の自然環境（奥池南町） <周囲の散策道には、広葉樹や水辺の植物多数。野鳥や昆虫の宝庫>	37 金津山古墳（春日町） <阿保親王が飢饉に備え黄金などを埋めたという埋蔵伝説。埴輪ほか出土>		
13 奥池一イモリ池（奥池南町） <氷河期のサギスケ・ハッショウトンボなどが見られる>	38 旧西国街道跡 <かつての浜街道(春日町)には、石仏・道標・地蔵尊が置かれていた>		
14 奥山貯水池周辺の自然（奥池南町） <自然の中に美しい住宅地が広がっている>	39 猿丸君彰功碑（浜芦屋町・芦屋公園内） <芦屋を近代化へと導いた精道村長の顕彰。安時の孫・又左衛門安明の顕彰>		
15 高座の滝・周辺の自然 <昔の修験道の痕跡や小堂がある。ロックガーデンの入口>	40 三条八幡神社（三条町） <刻印石や尼崎領界石、皇紀二千六百年・六甲クロガネモチの石碑>		
16 ごろごろ岳（国有林） <標高565.6m。38年間気象観測を続けた「人間灯台」跡>	41 親王寺（打出町） <阿保親王関係文献・【市指定文化財】親王寺所蔵考古資料一括 所蔵>		
17 桜の名所といわれる市内の公園やさくら通り <宮塚・津知・芦屋中央公園ほか／川西さくら通り・茶屋之町駅前線など>	42 水車谷石臼（山芦屋町） <開森橋上流。「金兵衛車・焼け車」伝説の地。民家の石垣に石臼が残る>		
18 市花・コバノミツバツツジの美しい芦屋の背山 <城山・芦屋霊園・芦屋神社・六麓荘里山公園・芦有道路など>	43 大楠公戦跡碑（楠町） <昭和11年建立。楠木正成と足利尊氏が戦った中世の古戦場>		
19 城山（鷹尾山）からの眺望 <大阪湾を一望。戦国時代の古戦場跡。「松若物語」の舞台>	44 伝 猿丸太夫墓【市指定文化財】（東芦屋町） <芦屋神社の一隅に、百人一首で有名な伝猿丸太夫之墓がある>		
20 仲ノ池緑地公園の樹木・水辺の植物・生物（岩園町） <江戸時代のため池を公園として整備。街の中にあるオアシス>	45 徳川大坂城東六甲採石場・出土刻印石【市指定文化財】 <岩ヶ平・奥山・城山刻印群に割石多数。運び出し途中の石も海辺付近に散在>		
21 東おたふく山（花原）の地形と四季の植物 <コバノミツバツツジの群生やハイキングコースとして親しまれている>	46 ナウマン象臼歯化石出土地（芦有ゲート北側） <昭和36年、芦有道路建設工事中に発見。3～10万年前の化石>		
22 岩園緑地・六麓荘西緑地などの保護樹林 <八十塚バス停の南に広がる山林。樹林内に古墳も保護されている>	47 日吉神社内石祠（津知町） <祠の屋根に芦屋最古の金石文“永正17年(1520年)”の銘>		
23 宮川河口の自然 <飛来する水鳥、遡上するイナ・ボラの群れ>	48 弁天岩・フカ切り岩 <古来からの雨乞いの神事を行った伝承の地>		
24 ロックガーデン・風吹岩 <変化に富んだ岩登りの練習場>	49 薬師堂（東芦屋町） <本尊・薬師如来は安楽寺(西山町)、お堂は昭和11年に東芦屋町へ移設>		
25 芦有道路・展望台からの眺望 <眼下に奥池・奥山貯水池、また仁川や西宮市街も一望>	50 八十塚古墳群 <【市指定文化財】双龍環頭大刀が出土>		



市民が選んだ「芦屋の未来遺産」100選

2017年12月1日現在

芦屋の文化遺産		芦屋の景観遺産	その他の遺産
51	芦屋の民話・伝承とゆかりの地 <ぬえ塚・金兵衛車焼け車・金津山の黄金・打出の小槌ほか多数>	76	愛称道路「業平さくら通り」と開森橋上流に続く桜並木 <愛称道路は、業平橋から開森橋までの芦屋川両岸の桜並木をいう>
52	芦屋の昔を知る文献等（歌物語・歌集・史書ほか） <万葉集・伊勢物語・増鏡・太平記・摂陽群談・摂津名所図会ほか多数>	77	愛称道路「芦屋川松風通り」と芦屋公園のクロマツ林 <愛称道路は、芦屋川河口から業平橋までの両岸に続く松並木>
53	芦屋の由緒（謡曲・伝承等に由来）ある町名・橋の名 <業平・公光・月若・船戸・親王塚・打出・打出小槌・楠など>	78	愛称道路「山麓線」（山手町・朝日ヶ丘町・六麓荘町） <県道奥山精道線から八十塚橋までの緑道。桜の名所の続く山手の主要道路>
54	芦屋のまつり <さくらまつり・山まつり・サマーカーニバル・秋まつり>	79	芦屋川トンネルと天井川風景 <芦屋川の下をJRが通行。日本初“トンネル”名称が使われた近代的隧道>
55	芦屋市内のだんじり・だんじり祭り <精道・三條・山之町・打出・西之町・濱之町の6基のだんじりがある>	80	芦屋川の文化的景観【市指定文化財】 <芦屋川中流・下流域両岸に広がる景観-美しい町並や歴史。平成24年指定>
56	芦屋のお地蔵さん・地蔵盆 <芦屋霊園・三条墓地の六地蔵ほか、宮川地蔵通りほか、旧市街に点在>	81	芦屋仏教会館（前田町） <丸紅の初代社長・伊藤長兵衛により、昭和2年に建造された>
57	「芦屋カメラクラブ」創設者たちの芸術写真作品群 <昭和4年創設。中山岩太・ハナヤ勤兵衛らの芸術的な写真作品群>	82	芦屋ルナ・ホール（業平町） <昭和45年竣工。一歩入ると吉原治良デザイン“黒い空間に白い線”が印象的>
58	「芦屋美術協会」創設とその功績 <前衛美術グループ“具体”代表・吉原治良らが創設。伊藤継郎も設立に参加>	83	芦屋川堰堤（天然プール） <上流の堰堤下に自然にできた水たまり。川遊びする光景も夏の風物詩>
59	芦屋文化の揺りかご「阪神間モダニズム」 <音楽家・貴志康一、ファッショ・田中千代ほか、美術・建築等多方面>	84	芦屋警察・旧正面玄関（公光町） 外観のみ <旧庁舎は昭和2年建造。その正面玄関のアーチの要石にはミミズクの彫刻>
60	芦屋ユネスコ協会と近代的ボランティア精神の高揚 <廣瀬勝代創設。婦人会・日本ユネスコ創設、日赤運動・「父の日」提唱>	85	芦屋キャナルパーク・陽光緑地（潮見町・浜風町・陽光町） <シーサイドタウンと南芦屋浜との間に整備された運河。両岸の散策も楽しい>
61	打出公園（打出小槌町）と村上春樹「風の歌を聴け」 <作品中に登場する“お猿の公園”。映画監督・大森一樹が同小説を映画化>	86	芦屋市総合公園（陽光町） <樹木の大気浄化機能を利用した「大気汚染対策緑地」>
62	打出焼 <明治中期から昭和40年頃まで打出で作陶された特産品>	87	芦屋国際ローンテニスクラブ（松浜町） 外観のみ <昭和31年完成。同年、天皇・皇后の御前で国体硬式テニス試合を開催>
63	小出権重のアトリエ（川西町→伊勢町・美博で復元） <画家・隨筆家。復元されたアトリエが美術博物館で公開>	88	カトリック芦屋教会（公光町） <昭和30年建設。芦屋川沿いの代表的な景観に欠かせない建物>
64	高浜虚子記念文学館（平田町） 有料入館 <館長は虚子の孫・俳人の稻畠汀子。俳諧「ホトギス」主宰>	89	旧芦屋郵便局電話事務室【国登録有形文化財】（大柿町） 非公開 <昭和4年建設。精道村時代の近代的な住民の暮らしを象徴。現芦屋モリス>
65	高浜三代句碑（月若町・月若公園内） <高浜虚子、月若公園近くに住んだ高浜年尾、娘・稻畠汀子の3代の句>	90	旧松山家住宅「松濤館」【国登録有形文化財】（打出小槌町） 月・水～土曜日公開 ※第1火曜日が祝日の場合、翌水曜日休館 <現芦屋市立図書館打出分室。明治時代の建物。昭和27年に市が買収>
66	「細雪」碑（開森橋東詰）一名作の中の芦屋風景 <谷崎夫人・松子さん揮毫の碑／阪急以北の芦屋川周辺には名作の面影が残る>	91	旧山邑家住宅【国指定重要文化財】（山手町） ※平成30年12月まで保存工事中 <現ヨコウ迎賓館。大正7年にフランク・ロイド・ライトが設計>
67	滴翠美術館とその美術収蔵品（山芦屋町） 有料入館 <昭和8年建造。山口吉郎兵衛のコレクションを中心に展示>	92	谷崎潤一郎記念館（伊勢町） 有料入館 <芦屋市立図書館・美術博物館と文化ゾーンにある。庭園が美しい>
68	富田碎花旧居（宮川町） 水・日曜日のみ無料公開 <兵庫県文化の父。詩人。没後、市に寄贈され昭和62年から一般公開。谷崎潤一郎も住んだ文豪ゆかりの家>	93	美術博物館（伊勢町） 有料入館 <芦屋市立図書館・谷崎潤一郎記念館と文化ゾーンにある。近代的な建物>
69	業平と「伊勢物語」 <業平が主人公と思われる日本の歌物語の代表作「伊勢物語」に芦屋の記述>	94	旧芦屋国際ホテル（八麓荘町） <昭和12年建設、国際ホテルとして運営。戦後米軍が接收。昭和35年に芦屋学園が買収し学舎として使用されたか、平成7年の阪神・淡路大震災により消滅>
70	業平の歌碑（松ノ内町・松ノ内緑地内） <六歌仙・業平の歌碑。平成2年、市制50周年記念に建立>	95	六麓荘の街並み（六麓荘町） <趣向を凝らした大邸宅が線の中に並ぶ。独自の自治・石橋・街灯等にも注目>
71	業平ゆかりの「潮見桜」 <「伊勢物語」の作者・業平が、初代「潮見桜」を植えたとの伝承>	96	芦屋川カレッジ・学友会 <芦屋独自のシルバー世代交流組織>
72	「ぬえ塚」（浜芦屋町・芦屋公園内） <源頼政の退治した怪物ぬえが芦屋浜に漂着。村人たちが手厚く弔った伝承>	97	「阪神大水害決壊の地」石碑（東芦屋町・開森橋東詰） <昭和13年、芦屋川が決壊し阪急以北に甚大な被害。「細雪」にも描かれた>
73	藤木九三のレリーフ（高座の滝横の岩肌） <登山家。大正13年、芦屋ロッククライミングクラブ(RCC)結成>	98	芦屋の戦災復興と「芦屋国際文化住宅都市建設法」 <戦後の復興、現在の街づくりの指針ともなっている特別法。昭和26年公布>
74	別荘地「松風山荘」の雰囲気を残す山手緑地庭園（山手町） <昭和初期、別荘地として開かれた松風山荘の一隅を庭園として公開>	99	阪神・淡路大震災と「震災慰靈の碑」（芦屋公園内） <平成7年の大地震の慰靈碑。碑には稻畠汀子氏の句が刻まれている>
75	厄除観音堂（三条町） <民話「観音さまと牛」の舞台>	100	パチンコ店のない駅前風景 <戦後、国際文化住宅都市にふさわしい芦屋の街づくりを官民一体で進めた>

作成：芦屋未来遺産運動推進委員会

問い合わせ：芦屋ユネスコ協会事務局（芦屋市教育委員会生涯学習課内）☎0797-38-2091

★「未来遺産」について、さらに詳しくご覧になるには、芦屋ユネスコ協会ホームページをご確認ください。

芦屋ユネスコ協会 ホームページ：<http://www.unesco.or.jp/ashiya/miraiisan.html>

*上記の建物等は部分公開であったり、公開日が不定期であるところやお問い合わせに対応しかねるところもございますので、ご了承ください。